

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	11月28日(木) 10:00～
活動参加人数	21名(1グループ5・6人の4グループ)
クラス名(年齢)	ひまわり組(3歳児・4歳児・5歳児)
年間テーマ	自然の探求活動

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然ってどんなものがあるんだろう

<テーマの設定理由>

日頃から散歩で自然が多くある場所へ行っている為、草花に興味を持つ子が多く、どんなものがあるか探してみようと思った

### 2. 活動スケジュール

自然物がおおくある場所へ散歩に行き、どんな草花があるか探してみる。  
興味を持ったものを集め観察をする。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・デジタルカメラ ・ビニール袋
- ・自然が多くある公園を設定する

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・様々な自然がある公園を設定し行う
- ・生えている草花を探し、観察をしたり、見つけたものを見せ合ったりしていた
- ・気付いた事など言葉にして伝え合っていた

### 〈活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

それぞれのグループは好きなところに散策に行き、生えている木を見て「無人島の木だよ」「海にある木」とヤシの木のような木を見て共有していた。

落ち葉が集まっている所を見ては「葉っぱの山だ」「同じ葉っぱでも形が違うね」「黄色の葉っぱだよ」「赤もあるよ」と形や色の違いに気付いていた。

クモの巣に葉っぱが引っかかり風で葉っぱが回っているのを見て、「クルクル回っている!」「扇風機みたい!」と身近なものに例え共有していた。

公園内にある小川に葉っぱが沈んでいる事に気付いた子どもが「何で流れる葉っぱと水の中にある葉っぱがあるんだろう」と疑問を持っていた。保育者は子ども達に色々な落ち葉を集めて試してみようと促し、集めた落ち葉を水に入れてみた。乾いた落ち葉は浮かび水に流れ、湿っている落ち葉や柔らかい落ち葉は沈んだ。この発見に子ども達はわくわくし、「これは流れる」「これは少し流れて沈んだ!」などと楽しんでいた。

きれいな色の落ち葉や様々な形の落ち葉、どんぐりなど、気になるものをビニール袋に入れ集め、探索を終えた後集めたものを、「僕こんなにみつけたよ」「私はこんなのがあったよ」と友達同士見せ合い、気付いた事などを言葉にして伝え合っていた。



## 5. 振り返り

### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

落ち葉や木、様々な物に興味を示し、友達同士で色や形の違いについても共有していた。水の中に溜まっていた落ち葉も気になり、流してみたり浮かぶ葉っぱ、沈む葉っぱの違いを友達と考えてみたりして子ども達なりの考えを伝え合っていた。大人ではなかなか気付かない視点で自然物を探し見ていると、言葉を交わすごとに「こんな風に見えるんだ」と気付かされた。又、物の例えも豊かで、子ども達の想像力に驚かされた。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	12月20日(金)10:30～
活動参加人数	20人(1グループ3・4人の6グループ)
クラス名(年齢)	ひまわり組(3歳児・4歳児・5歳児)
年間テーマ	自然の探求活動

### 1. 活動のテーマ

#### <テーマ>

違う場所にはどんな自然があり、細かい部分はどんな風に見えるのだろうか

#### <テーマの設定理由>

日頃から行っている別の散歩先にはどんな草花があるのか探してみようと思った。又、顕微鏡を使ったらどのように見えるのか観察してみようと思った。

### 2. 活動スケジュール

自然物が多くある別の場所に散歩に行き、どんな草花があるか探してみる。  
顕微鏡を使って細かい所まで観察してみる。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・デジタル顕微鏡 ・ビニール袋 ・デジタルカメラ

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

川の土手で行う。  
グループごとで草花を探し、顕微鏡で細かい部分まで観察する。  
実際に見た物と顕微鏡を通して見た草花の違いについて伝え合っていた。

### 〈活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

顕微鏡で見ると色や模様が違って見えるものも多く、「こんな色だった?」「ブツブツみたいなものがある」「毛があるよ」「表と裏で色が違う!」などと違いに驚いていた。毛が生えていた葉っぱと生えていない葉っぱを触り「こっちはフワフワでこっちはつるつる」と見るだけでなく、触った時の違いも感じ共有していた。

顕微鏡の仕組みを理解した子ども達は「くっつき虫はどんな感じに見えるのだろう」と疑問を持ち、沢山付いている物、一部のみとほとんどのグループがそれぞれ持ってきた。顕微鏡で見ると、服にくっつく部分は昆虫の足のようにトゲトゲしていることに気づき、「虫みたい!!」「大きく見ると気持ち悪い」などと言っていた。

草花だけでなく、石に興味を持った子どももおり、「これを見てみたらどう見えるんだろう」と保育者の元に持ってきた。一緒に見るとキラキラとした粒が見え「きれい!」とめを輝かせていた。その声を聞いた他の子ども達も集まり、様々な石も観察した。



## 5. 振り返り

### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

子ども達は顕微鏡を使って草花を見るのが初めてだったので、とても興味を持って見ている。草花を探す時も「これを見たらどんな風に見えるかな?」「見てみたい」という基準で草花を見ていたので、普段何気なく見ている物も全て不思議に思っていた。実際に見た物、顕微鏡で見た物の違いに驚き様々な草花を見たいという好奇心が見られた。それらを探究心に繋がるような活動をしていきたい。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	1月24日(金)10:00～
活動参加人数	22名
クラス名(年齢)	ひまわり組(3歳児・4歳児・5歳児)
年間テーマ	自然の探求活動

### 1. 活動のテーマ

#### <テーマ>

顕微鏡で見た草花を皆で見よう

#### <テーマの設定理由>

グループごとに顕微鏡で見た草花を、他のグループの物も見たいと子ども達から声が上がったので、スクリーンを使用して見ようと思った。

### 2. 活動スケジュール

- ・前回グループごとに顕微鏡で見た草花を、スクリーンを使用してクラス全体で見してみる。
- ・グループごとに持ち帰った草花も顕微鏡を使用してスクリーンに映し見してみる。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・スクリーン ・プロジェクター ・顕微鏡 ・書画カメラ ・図鑑 ・デジタルカメラ
- ・広いスペースを確保し、スクリーンが見やすいよう室内を整える

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・顕微鏡で見た草花をスクリーンに写してクラス全体で見してみる
- ・持ち帰った草花も顕微鏡で細かい所まで皆で見してみる
- ・気付いた事や疑問に思ったことを発表し皆と共有する

### 〈活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

大きなスクリーンに映し出される顕微鏡の画像を見て、「これ何の葉っぱ?」「これは私も見たやつだー」とどの画像にも興味津々な様子。他のグループが見つけた草花にも興味を持ち「どの辺にあったの?」「いっぱい生えていたよ」と子ども同士で伝え合っていた。毛が生えている葉っぱやくつつき虫は戸外で見たときから興味を持っていたが、大きなスクリーンで見ることで、「わあ〜!」と驚きながらも、じっと観察をしていた。毛が生えている葉っぱは、戸外で見ていなかった子もいたので、「何で葉っぱに毛があるの?」と不思議そうにしていた。実物を子ども達にも見せると「目では見えないけど、触ると毛があることがわかる!!」と気付く事が出来ていた。

草花の名前を知りたいがる子が多く、保育者が図鑑で調べることを提案し実際に図鑑をスクリーンに映し、図鑑の中身を子ども達に見せる。自分達で「調べてみたい」という意欲も出ていた。



## 5. 振り返り

### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

大きなスクリーンで草花の細かい部分が見られたこと、全員で見られたことで、グループごとに顕微鏡で見たときよりも様々な気づき・発見があった。自分達で見つけた草花の「名前を知りたい」と言う子ども達の興味も広がった。図鑑を使用して子ども達が調べられるような活動をしていけたらと思う。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	2月6日(木)10:00～
活動参加人数	22名1グループ3・4人の6グループ
クラス名(年齢)	ひまわり組(3歳児・4歳児・5歳児)
年間テーマ	自然の探求活動

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

図鑑で草花の名前を調べよう

<テーマの設定理由>

見つけた草花の名前を知りたいという子ども達からの声から、図鑑を使用し調べてみようと思った。

### 2. 活動スケジュール

- ・持ち帰った草花を図鑑で調べ、名前や葉っぱの形で、グループ分けをしてみる。
- ・グループごとで調べた事を画用紙にまとめる

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・図鑑 ・画用紙 ・ペン ・セロハンテープ
- ・必要な素材や道具を十分に用意し、集中して取り組める環境を整える

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・グループごとに集め持ち帰った草花の名前を図鑑で調べた。
- ・名前だけでなく、葉っぱの形なども同じ物同士グループ分けをした。
- ・調べて分かった事を画用紙に葉っぱを貼ったり図鑑をコピーした物を一緒に貼ったりしてグループごとにまとめた。

##### <活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

図鑑を見ながら「これとこれ同じ！」と種類が同じでも名前が違う物がある事に気付き「こっちは緑でこっちは黄色・・・」保育者が持ち帰った物は「どっちが近い？」などと子ども達が考えられるようにしていった。「この葉っぱの形は・・・こっち?」「これにも似ているよ」「ここが丸いところはこっちの方が似ている」と気付いたことを伝え合いながらまとめていた。「両方に似ているからどうしよう・・・」保育者に「同じ仲間にすることもできる?」「それも出来るね!そうしようか!」と困ったことを保育者に相談しながら、自分達でも考える姿がみられた。全グループがまとめた物を掲示すると、他グループのまとめを見て、「同じ葉っぱだけど、こっちはこれにしたんだ!」「同じだ!」と自分のグループの物と比べながら見て、そこからまた会話が広がっていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

自分達で探し集めた物を調べることにも子ども達はとても興味を持ち、真剣に調べていた。友達同士考え伝え合う姿が多く見られ、日頃遊んでいるときよりも友達の話聞いている子も多かった。画用紙にまとめるときには、グループの中の年上児が中心になっている年下児をサポートする姿も見られ縦割り保育での良さ感じた。今回は葉っぱや図鑑のコピーを画用紙に貼ってまとめたが子ども達から「絵も描けるかな・・・」と言う声もあった。自分で描いて表現することを取り入れられたらと思う。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	3月6日(木)10:00～
活動参加人数	22名
クラス名(年齢)	ひまわり組(3歳児・4歳児・5歳児)
年間テーマ	自然の探求活動

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

探し集めた草花の絵を描こう

<テーマの設定理由>

「葉っぱの絵を描けるかな・・・」と描いて表現する方にも興味を持っていた為、どんな絵を描き表現をするのか行ってみようと思った

### 2. 活動スケジュール

- ・グループごとにまとめた草花を見ながらクレヨンで絵を描く。
- ・草花を集めたときの周りの様子を思い出し背景の色をグループで決め決めた色を絵の具で塗る

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・スケッチブック ・クレヨン ・絵の具 ・筆 ・バケツ ・パレット
- ・グループごとにまとめをした草花
- ・必要な道具を十分に用意し取り組めるようにする

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

図鑑で調べ、まとめをしたグループごとでまとめた中から描きたい物を2つ選びクレヨンで描く。草花を探し集めた時の周りの様子、景色を思い出し、グループで色を決め背景の色を塗る。クレヨンで草花を描いていたのではじき絵も楽しめた。

##### <活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

「どの色がこれに近いかな」「いっぱい茎があるね」と色や形に興味を持ち似た色を選んだり、形の特徴を捉えているような声も多く聞かれた。「見てみて！これ描いたよ！！」と描けた物を嬉しそうに見せてくる子どもも多かった。「難しいなー」と見た物を絵で表現することに難しさを感じている子どももいたが、保育者が側に付き、「ここは丸いね」「ここは真っ直ぐだね」などと言葉にして話をすることでイメージが浮かび、表現することが出来ていた。背景の色選びは、グループで意見が分かれるところもあったが、保育者も話し合いに加わり、1つの色に決められていた。絵の具を使うことが皆嬉しかったようで、意欲的に塗っていた。「クレヨンで描いたところも、絵の具で塗って大丈夫だよ」という保育者の言葉にクレヨンで描いたところが絵の具ではじく様子を見て「絵の具の色がつかないよ」「クレヨンのままだー！」などとはじき絵を楽しんでいた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

絵で描いて表現することで細かい部分もよく観察し自分なりに表現して楽しんでいた。できるだけ実物に近づけられるよう色や形を工夫している様子も見られた。背景の色決めでは、意見がまとまらないグループもあったが、保育者が加わることで皆が納得し決めることが出来て良かったと思う。絵の具を使用するときは、子ども達の目がキラキラしていてとても嬉しそうだった。はじき絵も友達同士見せ合って楽しさを共有していた。他の季節の草花への興味も出ていたので、他季節でも探求活動を行っていきたい。